

2021年度

短期講座（履修証明プログラム）

「ヘルスケア×マネジメントコース」

シラバス（授業計画）

小樽商科大学大学院商学研究科

アントレプレナーシップ専攻

## － 目 次 －

1. 趣旨 .....	1
2. コンセプト .....	1
3. 養成する人物像.....	1
4. 開講科目 .....	1
5. 修了要件.....	2
6. 授業計画.....	2
マネジメントの知識と思考法 .....	3
ヘルスケア×マネジメントセミナー【地域社会と健康】 .....	4
ヘルスケア×マネジメントセミナー【ヘルスケア産業の視点】 .....	5
ビジネスプランニング手法 .....	6

## 1. 趣旨

小樽商科大学ビジネススクール「ヘルスケア×マネジメントコース」は、変革が求められている医療・介護・福祉業界において、マネジメントの知識とベンチャーマインドを有する人材の育成を目指したプログラムである。

本コースでは、経営学の基礎知識を学修した上で、ヘルスケア全般におけるトピックスの紹介と受講者のグループワーク等をベースに、ビジネスアイデアを構想し練り上げる過程を通して、課題解決のアイデアを生み出す「ビジネス発想力」や、そのアイデアを形にする「プラン構想力」を得ることを目指す。また、グループワークを通して、人的ネットワークを構築するとともに、人的ネットワークを活用して価値を生み出す方法を実践することで、自らの知識の幅を広げながらも協働してプランを実現する「ネットワーク力」を身につける。

## 2. コンセプト

ヘルスケア領域における“共有価値”の創造

本コースでは共有価値の創造を、例えば健康寿命の延伸といった社会課題の解決と利益創出が両立する事業活動と定義し、その事業を構想できることを到達目標とする。

## 3. 養成する人物像

問題発見力・問題解決力を有し、自施設のマネジメント、更には地域共生社会の実現や国民の健康寿命延伸といった社会の流れを俯瞰しながら、地域医療・介護を含むヘルスケア領域において、様々なプレーヤー間の連携をマネジメントし、イノベーション創出を牽引する人材

## 4. 開講科目

総授業時数：63 時間

- (1) マネジメントの知識と思考法 (15 時間／基本科目)
- (2) ヘルスケア×マネジメントセミナー【地域社会と健康】(15 時間／発展科目)
- (3) ヘルスケア×マネジメントセミナー【ヘルスケア産業の視点】(15 時間／発展科目)
- (4) ビジネスプランニング手法 (18 時間／実践科目)

※最低催行人数（5 名）を下回る場合は、(2) ヘルスケア×マネジメントセミナー【地域社会と健康】および(3) ヘルスケア×マネジメントセミナー【ヘルスケア産業の視点】は非開講とする。

## 5. 修了要件

開講している4科目全63時間のうち、60時間以上の出席受講が必須である。出席状況、各科目の課題の成績、および最終課題の内容とプレゼンテーションの評価を総合的に判断する。

## 6. 授業計画

### ○授業時間（モジュール型授業）

モジュール型（集中連続）授業では、1回の授業を2時限連続（90分×2=180分）で行い、集中的に学習する。科目はM1からM5の5モジュール（ビジネスプランニング手法は最終報告会を含む6モジュール）で構成され、主に平日夜間（6,7講目）に授業を実施する。

### ○開講時間帯

1 講目 8:50 - 10:20

—平日夜間—

2 講目 10:30 - 12:00

6 講目 18:30 - 20:00

3 講目 12:50 - 14:20

7 講目 20:10 - 21:40

4 講目 14:30 - 16:00

5 講目 16:10 - 17:40

### ○講義配信会場

小樽商科大学札幌サテライト

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55 ビル 3階

※リアルタイム配信による遠隔授業を基本とする。

### ○授業日程

本コースのホームページにて通知する。変更の際は、ホームページならびに学習管理システム「manaba」を用いて通知する。

科目名	マネジメントの知識と思考法
-----	---------------

担当教員	李 済民、玉井 健一、旗本 智之、猪口 純路、西村 友幸	
時間数／分類	15 時間／基本科目	
授業の概要	<p>本科目では、ビジネスパーソンが共通して身につけておくべき戦略、マーケティング、組織行動と人的資源管理、会計・財務といった経営管理に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。ビジネスプランニングに必要な経営戦略・マーケティングの分析フレームワーク、チームマネジメント、企業会計の基礎について、本学ビジネススクールの講師陣による講義を行う。</p>	
到達目標	<p>経営管理に関する基礎的な知識を習得し、課題発見から課題解決に至る過程において必要なマネジメント思考を身につける。</p>	
授業計画	M1	李 済民（小樽商科大学ビジネススクール 特任教授）
	テーマ	経営戦略（SWOT 分析、5Force 分析、バリューチェーン等）
	M2	旗本 智之（小樽商科大学ビジネススクール 教授）
	テーマ	企業会計の基礎（財務諸表の仕組みと役割、財務分析の基礎等）
	M3	猪口 純路（小樽商科大学ビジネススクール 教授）
	テーマ	マーケティング（市場細分化、ターゲティング、ポジショニング等）
	M4	玉井 健一（小樽商科大学ビジネススクール 教授）
	テーマ	イノベーション概論
	M5	西村 友幸（小樽商科大学ビジネススクール 教授）
	テーマ	チームマネジメント（リーダーシップ論、モチベーション等）

科目名	ヘルスケア×マネジメントセミナー【地域社会と健康】
-----	---------------------------

担当教員	藤原 健祐、中川 喜直、高橋 恭子 他	
時間数／分類	15 時間／発展科目	
授業の概要	<p>「共有価値」(shared value) という概念は、経済的価値を創出しながら、社会的ニーズに対応することで社会的価値も創出するというアプローチである。本科目では、社会的ニーズに焦点をあて、時代とともに変遷する「健康」の考え方や、健康を実現するための方法を正しく捉えることを目的として、地域住民の健康に資する取り組みについて、商学、工学、農学、医学といった多分野の専門家から事例や将来展望を紹介する。</p>	
到達目標	<p>幅広い視野を持って、地域住民の健康増進や地域コミュニティ創造についての新たなアイデアを構想できる。事例や将来展望を参考に、共有価値を生み出す持続可能な事業運営モデルを構想できる。</p>	
授業計画	M1	藤原 健祐（小樽商科大学ビジネススクール 准教授、博士（保健科学）） 中川 喜直（小樽商科大学商学部 教授、博士（医学））
	テーマ	ヘルスケア領域における共有価値の創造 健康プログラムの開発と展望 ―小樽市の取り組み―
	M2	佐々木 香織（札幌医科大学 医療人育成センター 教授、博士（社会学））
	テーマ	文化資本と社会関係資本からヘルスケア・サービスを考える
	M3	高橋 恭子（小樽商科大学保健管理センター 所長、博士（医学））
	テーマ	エビデンスに基づいた健康寿命延伸の取り組み
	M4	藤井 享（北見工業大学 工学部地域国際系系長 教授、博士（学術））
	テーマ	地域医療と IoT イノベーション ―デジタルヘルスケア―
	M5	木下 幹朗（帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授、博士（農学）） 三浦 健人（一般社団法人北海道バイオ工業会 事務局長）
	テーマ	食品科学と健康 ―地域貢献の視点から― 食品機能性表示と地域ヘルスケア産業

科目名	ヘルスケア×マネジメントセミナー【ヘルスケア産業の視点】
-----	------------------------------

担当教員	藤原 健祐、大津 崇輔、西根 英一 他	
時間数／分類	15 時間／発展科目	
授業の概要	<p>予防・健康管理等の公的保険外ヘルスケアサービス活性化への期待が高まっているものの、市場は発展途上であるとともに、健康・医療分野の新たな技術やサービスを事業化するためのエコシステムが未成熟との課題が挙げられている。本科目では、ヘルスケア領域において豊富なビジネス経験や知見を有する者を招聘し、講義ならびにディスカッションを行う。</p>	
到達目標	<p>様々なヘルスケアサービス関連産業が一体となり、新たな付加価値を創出できる、総合的なヘルスケア産業振興のアイデアを構想できる。</p>	
授業計画	M1	大津 崇輔（北海道経産局 地域経済部 健康・サービス産業課）他
	テーマ	ホクノー健康ステーションの事例紹介
	M2	西根 英一（株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ 代表取締役社長 ）
	テーマ	ヘルスケアビジネス創出で押さえておくべきポイント
	M3	阿久津 靖子（一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事）
	テーマ	デザインの視点からヘルスケアビジネスを考える
	M4	紀伊 信之（日本総研 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネジャー） 北嶋 史誉（株式会社エムダブルエス日高 代表取締役）
	テーマ	介護分野における新たなサービスイノベーションとビジネス創出のポイント
	M5	荒尾 裕子（株式会社クレメンティア 代表取締役 ）
	テーマ	公共政策とヘルスケアビジネス

科目名	ビジネスプランニング手法
-----	--------------

担当教員	藤原 健祐、伊藤 一、齋藤 一郎、内田 純一 他	
時間数／分類	18 時間／実践科目	
授業の概要	ヘルスケア領域における社会貢献・地域貢献をテーマとしたビジネスのアイデアを構想し、グループごとに練り上げていく。ビジネスコンセプトの想定、ビジネスコンセプトの確立、戦略の立案と検証・評価の段階に分け、レクチャーとグループワークからビジネスプランニングの標準的な検討作業の手順を理解する。	
到達目標	ビジネスプランニング（新規事業計画の立案・作成作業）に関する理解と技能を高め、各種分析ツールを適切に活用することができる。	
授業計画	M1	小樽商科大学商学部 教授 伊藤 一 小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐
	テーマ	先駆的な医療機関のケース分析
	M2	小樽商科大学ビジネススクール 教授 内田 純一 小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐
	テーマ	コンセプトメイキング、市場分析・STP
	M3	小樽商科大学ビジネススクール 教授 齋藤 一郎 小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐
	テーマ	業界分析・競合分析、SWOT 分析・戦略立案・素案
	M4	かもめソリューションズ 代表 三上 淳 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 執行役員 井馬 智行 小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐
		中間発表、講師・ディスカッサントとの検討
	M5	小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐
	テーマ	ビジネスモデルの分析
	M6	担当講師全員
	テーマ	最終報告会